

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 773 号
2025年11月1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

今年、アスカ・セミナーは第60回を迎え、10月10日（金）場所を三河灣リゾートリンクスに移し、久しぶりに一泊研修会として開催しました。

天野卓社長の歓迎の挨拶に始まり、本館ベルバークにて伊藤浩氏の講演の後、迎賓館・風海雅に場所を移して大懇親会は催されました。

第 60 回アスカセミナー

アルミニウム二次合金業界を取り巻く状況



講師 一般社団法人日本アルミニウム合金協会
専務理事 伊藤 浩 氏

日本のアルミニウム業界について

2015-19年頃のアルミニウム製品の総需要は400万トンほどだった。新型コロナウイルス禍の影響を受け落ち込んだ後に回復傾向を示したが、国内自動車産業の不正認証問題が発生して回復が遅れ、24年の需要は約367万トンとなった。一方でアルミニウム二次合金の19年頃までの需要は160万トンを超えていたが、近年は150万トン前後で推移している。

アルミ製品需要の内訳は最も多いのが輸送機器で次に金属製品、食料品、建設の順に続き、この4つの用途で78%を占める。製品別では圧延品が46%ほど。圧延品、ダイカスト、鋳造品の3種で全体の8割を占める。ダイカストは92%が自動車・二輪車向けになっている。一方でアルミニウム二次合金の需要はダイカスト向けが全体の60%を占める。

政府の動き

6月13日に閣議決定された骨太方針にアルミの再資源化の単語が入り、アルミへの関心が高まっている。その中でも最近重要になってきているのが資源有効利用促進法だ。リサイクル・資源循環に係る基本の枠組みを定めている法律である。本年改正され、3Rからさらに進出し、サーキュラーエコノミーやグリー

ントランスフォーメーションなど新しい概念を含めたものになった。再生資源の利用義務化やサーキュラーエコノミーの推進などが定められている。他方、経済産業省が24年の3月にサーキュラーエコノミーの実現に向けた産官学の連携を促進するための仕組みとして、サーキュラーパートナーズを立ち上げた。領域ごとにワーキンググループなどが作成され、実際に動き始めている。

グリーンアルミ

日本アルミニウム協会が5月にグリーンアルミに関する区分整理を公表した。それによるとグリーンアルミは、グリーンアルミ原材料もしくはリサイクルアルミ原材料、あるいはそれら両方を使用して製造したものと定義された。これら原材料の総称もグリーンアルミと定義された。

アルミスクラップやアルミニウム二次合金地金などがリサイクルアルミ原材料と位置付けられる。これらリサイクルアルミ原材料を用いて製造されたダイカストや鋳物製品はグリーンアルミと位置付けられる。当業界は古くからアルミスクラップを原料にしてアルミニウム二次合金などを製造してきており、従来からグリーンアルミ製造に直接関わる環境に優しい業界であると言える。

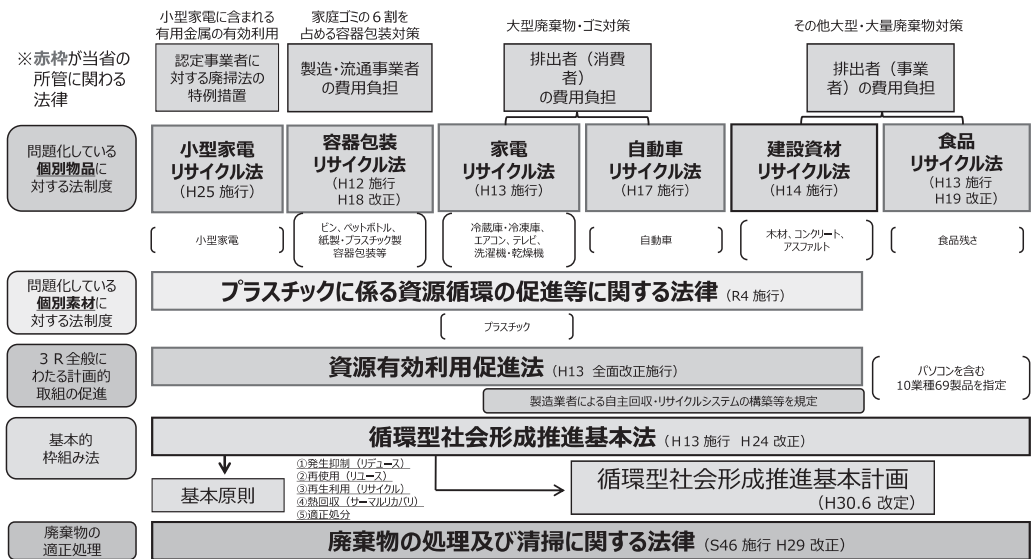


アルミスクラップ

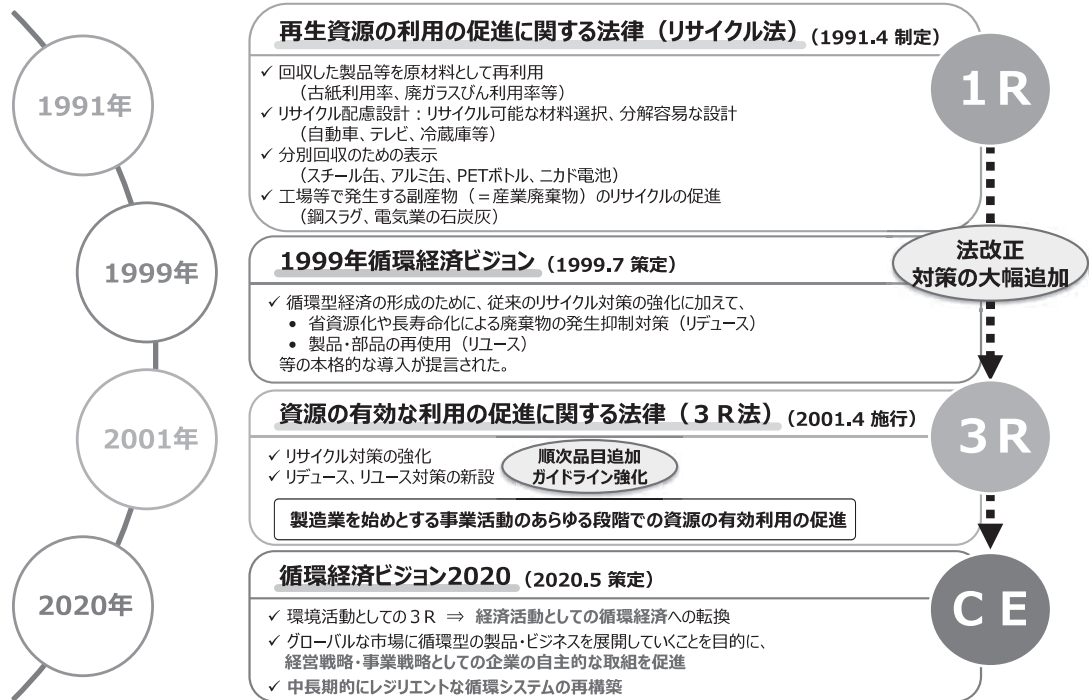
24年5月にアルミスクラップの輸出HSコードを細分化する動きがあった。当協会から経済産業省に品目の追加を要請した。本年1月から当該HSコードに「アルミサッシくず」「アルミ切削くずおよび打ち抜きくず」が追加され、品目は従来からの「アルミ缶」と「その他のもの」を含め4品目となり、これらの輸出状況が分かるようになった。
【産業新聞10月20日記事を引用】

廃棄物対策・リサイクル制度の全体像

- 廃棄後の処理が問題化している個別物品については、個別リサイクル法を整備。基本的枠組みとしての循環型社会形成推進基本法や、3 R 全般の取組を促進する資源有効利用促進法も整備。



資源循環経済政策の変遷（1R → 3R → CE）



リサイクル法ができてから約35年かけ進化し、サーキュラーエコノミー等の枠組みができた。

サーキュラーエコノミーとは、製品やサービスの生産段階からリサイクルや再利用を前提に設計し、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システム。

これまではリニアエコノミーが主流であり、一方通行の経済活動により大量生産・大量消費・大量廃棄が主流となっていた。

しかし、このような経済システムは資源や環境への負荷が大きいため、製品と原材料を循環させ、自然を再生することを原則とするサーキュラーエコノミーへの移行が求められている。（文責：永井翔大）

懇 親 会

迎賓館・風海稚での懇親会は、岡田専務の挨拶に続き、セミナーご講演の伊藤専務理事の乾杯でスタート。

今回は60周年記念特別企画として、太田英美さん（キーボード）、浅井ゆかりさん（サクソ）の演奏（4頁写真）があり、会場は大変盛り上がり、どのテーブルも秋の夜の歓談に花が咲きました。

最後に、一般社団法人日本ダイカスト協会副会長の中根由雄氏（アツタ起業株式会社社長）の中締めのご挨拶で、名残りを惜しみながら散会しました。



サククス・キーボード演奏



大懇親会



社内情報

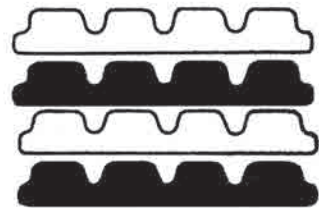
- ◎秋の恒例行事アスカ・セミナーは今年も盛大に開催できました。講師の伊藤様ありがとうございました。
- ◎翌日開催の第34回アスカ杯ゴルフコンペの結果は、
 優勝 石川尚郎氏（三重ダイキャスト工業）
 準優勝 森川冬樹氏（佐藤商事）
 第3位 大竹吉彦（アスカ工業）
 BB賞 高木隆敏氏（高木工業）
- ◎皆様おめでとうございました。

編集後記

- 日本初の女性首相、高市早苗内閣が10月21日に誕生。連立政権から公明党が離脱し、日本維新の会が合流。民主主義が脅かされないよう希望する。
- 日経平均は5万円超え。非鉄金属価格も全面高。
- 米国はロシアの石油輸出に圧力。日本のガス輸入に波及する恐れもあり。
- 企業へのサイバー攻撃が続く。災害時の対策として策定の各社BCPの中身も今後は更に検討か。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)
アスカ工業株式会社

〒444-0303
 愛知県西尾市中畑町卯新田上28
 TEL <0563> 77-0500(代)
 FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>